

【開催報告】第4回庁内ワークショップを開催しました！

■ワークショップの様子

(1) これまでのワークショップの振り返り

- ・ これまでのワークショップの振り返りとして、第1回～第3回市民ワークショップ、第1回～第3回庁内ワークショップの内容及び、日野市地域共創プラットフォームで実施した、政策の優先順位に関する意見募集・投票募集に関して説明を行いました。

(2) 戦略骨子案の説明

- ・ 戦略骨子案（第4回庁内ワークショップ時点のもの）について、説明しました。

(3) グループワーク

- ・ 以下の2つのテーマについて、グループディスカッションを行いました。
 - ワーク①「戦略骨子案と既存計画との整合性を確認し、KGI・KSFの修正要否・修正内容を検討する。」
 - ワーク②「市役所の取り組み（施策）が戦略骨子案のKSFの実現につながることを、論理的に説明できるか確認する。論理的なつながりに改善点のある「施策～KSF」のロジックモデル（※1）を補強する。」
- （※1：ロジック・モデル（logic model）とは、政策の論理構造、すなわち具体的政策・施策の内容とその効果をつなぐ論理のことを指します。）
- ・ 各グループで3つまたは4つの行政分野を担当し、合計で14の行政分野について議論しました。

〈行政分野（14分野）〉

安全安心・危機管理	子ども・子育て
行財政運営・ファシリティマネジメント	住宅・居住環境
経営戦略・DX	環境・GX
都市基盤・交通	地域コミュニティ・共生・共創
教育・生涯学習	福祉・包摂
健康・医療	農業・観光
産業・雇用	芸術文化・スポーツ

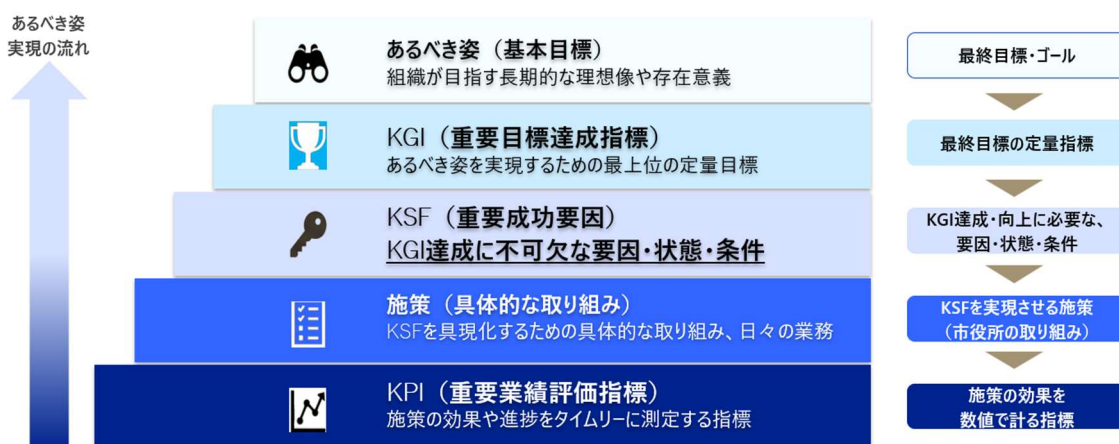
〈グループディスカッションの様子〉



〈補足説明〉 KGI・KSF・施策

- ・ 第4回庁内ワークショップで議論した、「KGI・KSF・施策」は、最終目標である「あるべき姿」と、施策の進捗を測る「KPI」を含め、ピラミッド構造で接続されます。
- ・ 土台となる市役所の日々の取り組み（施策）が、KSF（重要成功要因）の実現、KGI（重要目標達成指標）の向上につながり、ひいてはあるべき姿（基本目標）の実現につながっていきます。
- ・ ワーク①では、戦略骨子案で掲げた KGI・KSF について議論しました。
- ・ ワーク②では、施策と KSF の論理的なつながりについて議論しました。

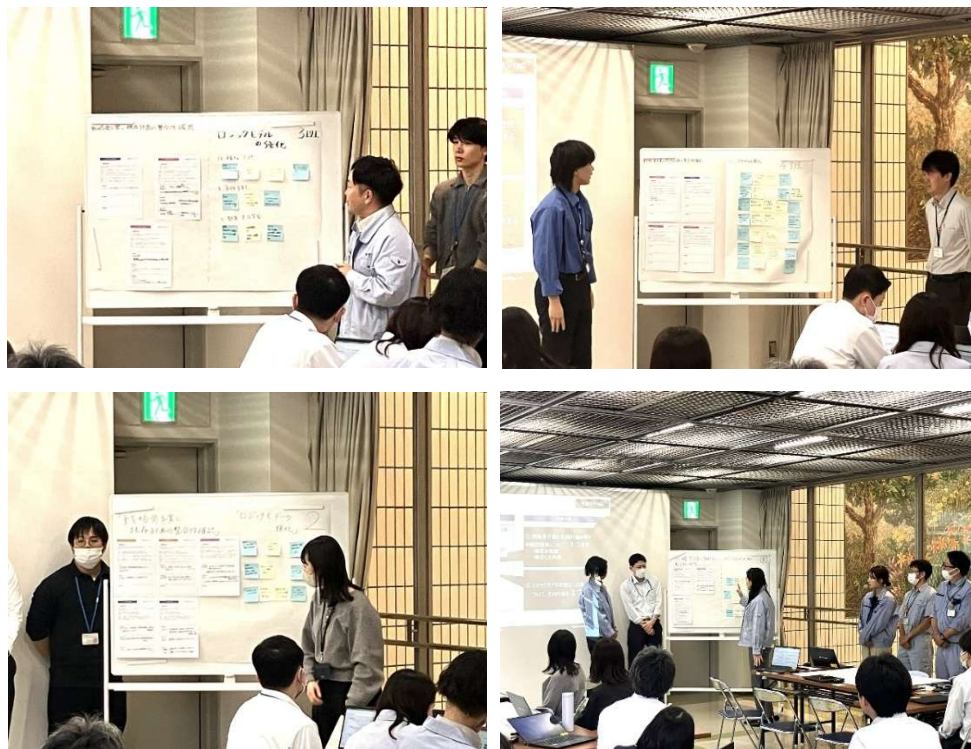
〈あるべき姿・KGI・KSF・施策・KPIの関係〉



(4) 最終発表

- ・ グループワークのまとめとして、これまで話し合った結果についてグループ毎に発表しました。
- ・ 各グループの意見は、戦略骨子案のブラッシュアップに活用いたします。

〈発表の様子〉



〈各グループの発表内容〉

【グループ1】 行政分野：安全安心・危機管理／都市基盤・交通／住宅・居住環境
 (ワーク①) 戦略骨子案における KGI・KSF の修正要否・修正内容を検討する。

グループ1 行政分野： **1. 安全安心・危機管理**

<p>〈戦略骨子案〉 分野別の理想像・ KGI・KSF</p>	<p>〈分野別の理想像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害や犯罪から守られ、地域で助け合い、安心して暮らし続けられるまち <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KGI 1：災害時の死傷者および被害の最小化 ・ KGI 2：犯罪や事故の発生件数の継続的減少 <p>〈KSF〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KSF 1：避難所等の物理的・人的機能が完全に整備・確保されている ・ KSF 2：市民が自発的な避難行動をとれる防災ネットワークがある ・ KSF 3：防犯カメラの設置や地域住民による見守り活動が継続されている
<p>〈修正事項〉</p>	<p>〈KSF 3〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「安全・安心に暮らせる地域生活環境の確保」をKSF 3とする。 ・ 戦略骨子案におけるKSF 3「防犯カメラの設置や地域住民による見守り活動が継続されている」を、上記の新たなKSF 3に紐づく施策の1つにする

グループ1 行政分野： **4. 都市基盤・交通**

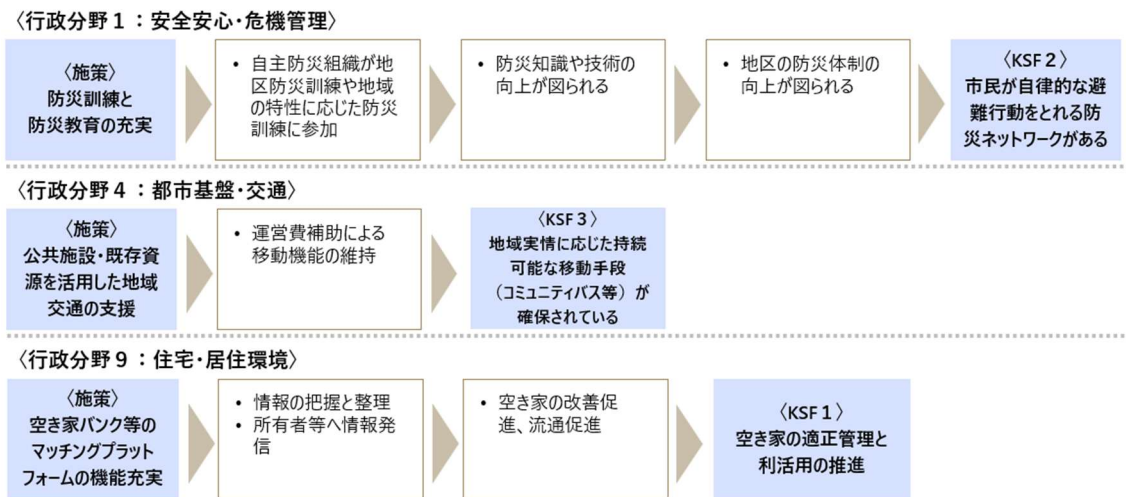
<戦略骨子案> 分野別の理想像・ KGI・KSF	<分野別の理想像> ・賑わいのある拠点とネットワークが構築され、人中心で移動にストレスのないまち <KGI> ・ KGI 1：三大拠点の居住誘導区域内人口密度 ・ KGI 2：交通サービス圏域内の居住人口比率 <KSF> ・ KSF 1：住宅と都市機能の集約（コンパクト化）を意図したまちづくりができている ・ KSF 2：拠点へのアクセスを容易にする安全な歩道や自転車道が充実している ・ KSF 3：地域実情に応じた持続可能な移動手段（MaaS等）が確保されている
<修正事項>	<KGI 1> ・ 居住誘導区域の定義が無い <KGI 2> ・ 交通サービス圏域の定義が無い <KSF 1> ・ 住宅集約の位置付けが無い <KSF 2> ・ 「安全な歩道や自転車道が充実」を「安全な歩行、通行空間の確保」に修正する <KSF 3> ・ 「MaaS等」を「コミュニティバス等」に修正する

グループ1 行政分野： **9. 住宅・居住環境**

<戦略骨子案> 分野別の理想像・ KGI・KSF	<分野別の理想像> ・ 空き家が再生され、安全で質の高い居住環境が維持・選択されるまち <KGI> ・ KGI 1：空き家・空き店舗のリノベーションおよび利活用件数 KGI 2：若年・子育て世帯の定住率（転入超過の維持） <KSF> ・ KSF 1：空き家バンク等のマッチングプラットフォームが機能している ・ KSF 2：空き家をまちの賑わいを育てる拠点として活用する支援策がある ・ KSF 3：緑豊かな環境と都市の利便性が高い次元で両立している
<修正事項>	<KGI 1> ・ 「空き家等の利活用の件数」へ修正 <KSF 1> ・ 「空き家の適正管理と利活用の推進」に修正

(ワーク②)「施策～KSF」のロジックモデルを補強する。

グループ1 行政分野： **1. 安全安心・危機管理** **4. 都市基盤・交通** **9. 住宅・居住環境**



【グループ2】行政分野：行財政運営・ファシリティマネジメント／経営戦略・DX／健康・医療／地域コミュニティ・共生・共創

(ワーク①) 戦略骨子案における KGI・KSF の修正要否・修正内容を検討する。

グループ2 行政分野： 2. 行財政運営・ファシリティマネジメント

<戦略骨子案> 分野別の理想像・ KGI・KSF	<分野別の理想像> ・ 持続可能な財政基盤と施設管理により、次世代に最適なサービスをつなくまち <KGI> ・ KGI 1 : 公共施設総延床面積の最適化 (削減目標の達成) ・ KGI 2 : 財政健全性指標 (経常収支比率等) の維持・改善 <KSF> ・ KSF 1 : 利用データに基づき、統廃合や複合化の合意形成がなされている ・ KSF 2 : 民間資金・ノウハウ (PPP/PFI等) の活用が定着している ・ KSF 3 : 費用対効果とロードマップに基づく「選択と集中」が徹底されている
<修正事項>	<KGI 1> ・ 「長寿命化」と「機能維持」を追加する <KSF 1> ・ 「多機能化」を追加する

グループ2 行政分野： 3. 経営戦略・DX

<戦略骨子案> 分野別の理想像・ KGI・KSF	<分野別の理想像> ・ デジタルで市民の利便性が向上し、データに基づく行政経営が行われるまち <KGI> ・ KGI 1 : 行政手続きのオンライン完結率 ・ KGI 2 : 業務のデジタル化による職員の業務時間削減量 <KSF> ・ KSF 1 : 市民が「来庁不要」で手続きできる利便性の高いシステムがある ・ KSF 2 : デジタルに不慣れな層へのサポート体制 (デジペバ対策) が整っている ・ KSF 3 : データに基づく政策立案 (EBPM) が標準化されている
<修正事項>	<KGI追加> ・ 「オンラインシステムへの導線を示す」を追加する <KGI 1> ・ 【その他意見】オンライン完結率は個人情報保護の関係で達成できない分野もあるのではないか

グループ2 行政分野： 6. 健康・医療

<戦略骨子案> 分野別の理想像・ KGI・KSF	<分野別の理想像> ・ 自分らしく健康を保ち、データに基づいた予防医療が行き届くまち <KGI> ・ KGI 1 : 健康寿命 (平均自立期間) の延伸 ・ KGI 2 : かかりつけ医を持つ市民の割合の向上 <KSF> ・ KSF 1 : 市民が自ら健康を守る意識を持ち、主体的に行動している ・ KSF 2 : 医療データのデジタル化と共通基盤の整備が進んでいる ・ KSF 3 : 地域医療機関の連携ネットワークが確立している
<修正事項>	<分野別の理想像> ・ 【その他意見】データに基づく予防医療は実現困難 (健康課の意見) <KGI 1> ・ 「医療費の適正化」を追加する <KGI 2> ・ 「自分の健康に関心がある市民の割合」に修正する <KSF 1> ・ 「市民が主体的に健康管理を行うことができる」に修正する <KSF 2> ・ 「疾病予防・早期発見体制の充実」に修正する <KSF 3> ・ 「医療機関に限らず、介護や生活支援も含めた地域包括ケアシステムの確立」に修正する

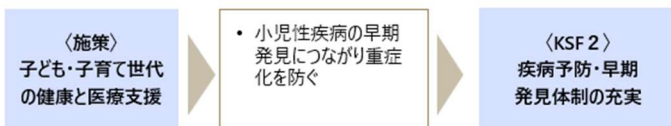
グループ2 行政分野： 11. 地域コミュニティ・共生・共創

<戦略骨子案> 分野別の理想像・ KGI・KSF	<分野別の理想像> ・ 誰もが役割を持ち、デジタルとリアルな融合でつながり、自らまちを良くする活動が広がるまち <KGI> ・ KGI 1 : 地域課題解決に向けた「共創プロジェクト」等の実施件数 ・ KGI 2 : 社会的つながりを持つ (孤立感のない) 市民の割合 <KSF> ・ KSF 1 : いつでもどこでも行政情報に触れ、発言できる環境がある ・ KSF 2 : 多様な主体が地域資源を活用し、連携しやすい体制がある ・ KSF 3 : 誰もが気軽に立ち寄れる「居場所」が地域に存在している
<修正事項>	<KSF 1> ・ 【その他意見】「行政情報」に限定しなくてもよいのではないか <KSF 2> ・ 「市民参加型の地域活動等への参加率」に修正する

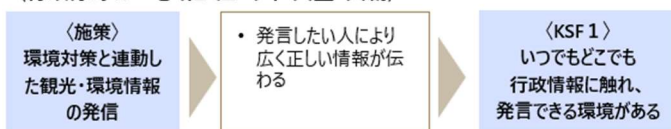
(ワーク②)「施策～KSF」のロジックモデルを補強する。

グループ2 行政分野： 2. 行財政運営・ファシリティマネジメント 3. 経営戦略・DX 6. 健康・医療 11. 地域コミュニティ・共生・共創

〈行政分野6：健康・医療〉



〈行政分野11：地域コミュニティ・共生・共創〉



〈行政分野11：地域コミュニティ・共生・共創〉



【グループ3】行政分野：教育・生涯学習／子ども・子育て／福祉・包摂

(ワーク①) 戦略骨子案における KGI・KSF の修正要否・修正内容を検討する。

グループ3 行政分野： 5. 教育・生涯学習

〈戦略骨子案〉 分野別の理想像・ KGI・KSF	〈分野別の理想像〉 ・自ら学び、課題を解決する力を育み、学び直しと活躍の循環があるまち 〈KGI〉 ・ KGI 1：自ら課題を発見し、解決しようとする姿勢を持つ子どもの割合 ・ KGI 2：生涯学習や地域活動への市民参加率 〈KSF〉 ・ KSF 1：ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びが実践されている ・ KSF 2：学校・家庭・地域が連携する「地域とともにある学校」が機能している ・ KSF 3：学んだ知識を地域課題の解決に活かせる仕組みがある
〈修正事項〉	〈KSF 3〉 ・「学んだ知識を地域課題の解決に活かせる仕組みがある」ではなく、「学んだ知識を地域課題の解決に活かせる機会がある」に修正する

グループ3 行政分野： 8. 子ども・子育て

〈戦略骨子案〉 分野別の理想像・ KGI・KSF	〈分野別の理想像〉 ・すべての子どもが安心して育ち、学び、将来の夢を自由に描けるまち 〈KGI〉 ・ KGI 1：子どもの自己肯定感（ウェルビーイング）の向上 ・ KGI 2：地域の子育て支援サービス・環境への満足度 〈KSF〉 ・ KSF 1：子どもが安心して通える居場所と、話を聞いてくれる大人がいる ・ KSF 2：妊娠から子育て期まで、切れ目のない伴走型支援が機能している ・ KSF 3：地域全体で子育てを支え合う風土が根付いている
〈修正事項〉	〈KGI 1〉 ・「子ども・若者の自己肯定感及び幸福感（ウェルビーイング）の向上」に修正する 〈KGI 2〉 ・【その他意見】「地域の子育て支援サービス・環境への満足度」について、文末の表現を「～満足度の向上」や「～環境の充実」等にする方が良いのではないかと 〈KSF 2〉 ・「切れ目のない伴走型支援」に、「敷居の低い相談」という表現を追加する

グループ3 行政分野： 12. 福祉・包摂

〈戦略骨子案〉 分野別の理想像・ KGI・KSF	〈分野別の理想像〉 ・支え合いの輪が広がり、誰も孤立することなく、多様な個性が尊重されるまち 〈KGI〉 ・ KGI 1：社会的孤立を感じている市民の割合の減少 ・ KGI 2：障がいを持つ方の雇用率 〈KSF〉 ・ KSF 1：適度な距離感で見守りや声かけが行われる環境がある ・ KSF 2：多様な属性の人が参加しやすい「ごちゃまぜの居場所」がある ・ KSF 3：多様性への理解とスキルマッチングの仕組みがある
〈修正事項〉	〈KGI 2〉 ・「障がいのある方の市民参画への参加率」に修正する 〈KSF 2〉 ・【その他意見】「ごちゃまぜ」だと分かりづらい。あまり良いイメージを持たれない懸念がある 〈KSF 3〉 ・【その他意見】スキルマッチングの環境を構築することまでは、実現が難しい懸念がある

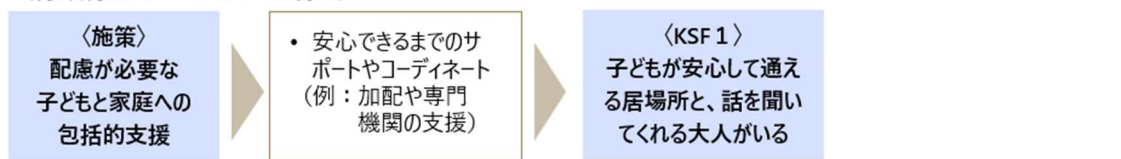
(ワーク②)「施策～KSF」のロジックモデルを補強する。

グループ3 行政分野： **5. 教育・生涯学習** **8. 子ども・子育て** **12. 福祉・包摂**

〈行政分野5：教育・生涯学習〉



〈行政分野8：子ども・子育て〉



〈行政分野12：福祉・包摂〉



【グループ4】行政分野：産業・雇用／環境・GX／農業・観光／芸術文化・スポーツ

(ワーク①) 戦略骨子案における KGI・KSF の修正要否・修正内容を検討する。

グループ4 行政分野： **7. 産業・雇用**

<p>〈戦略骨子案〉 分野別の理想像・KGI・KSF</p>	<p>〈分野別の理想像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 共創により社会課題をビジネスで解決し、多様な働き方が選べるまち <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> KGI1：市内における新規創業・企業誘致件数 KGI2：市内就業率（職住近接）の向上 <p>〈KSF〉</p> <ul style="list-style-type: none"> KSF1：ハンチャーや成長産業が活動しやすい支援拠点や制度がある KSF2：地域課題をビジネスで解決する産学官全の連携環境がある KSF3：テレワーク等、多様な働き方に対応した環境整備が進んでいる
<p>〈修正事項〉</p>	<p>〈修正事項無し〉</p>

グループ4 行政分野： **10. 環境・GX**

<p>〈戦略骨子案〉 分野別の理想像・KGI・KSF</p>	<p>〈分野別の理想像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源を大切に循環させ、カーボンニュートラル社会を共に創るまち <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> KGI1：市民一人一日あたりのごみ排出量 KGI2：家庭部門のCO2排出量削減率 <p>〈KSF〉</p> <ul style="list-style-type: none"> KSF1：まち全体で資源を大切に循環させる仕組み（サーキュラーエコノミー）が整っている KSF2：再エネ導入や省エネ設備普及への支援が充実している KSF3：環境教育を通じ、エコアクションに参加する市民が増加している
<p>〈修正事項〉</p>	<p>〈修正事項無し〉</p>

グループ4 行政分野： **13. 農業・観光**

<p>〈戦略骨子案〉 分野別の理想像・KGI・KSF</p>	<p>〈分野別の理想像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市農業と共生し、地域の魅力が磨かれ続け、訪れたいくなるまち <p>〈KGI〉</p> <ul style="list-style-type: none"> KGI1：都市農地の保全・活用面積 KGI2：地域資源（水・緑・歴史）を活かした交流・関係人口の拡大 <p>〈KSF〉</p> <ul style="list-style-type: none"> KSF1：新規就農者や市民農園など、多様な人材が農業に参画している KSF2：日野特有の資源（新選組、湧水等）が高付加価値なコンテンツになっている KSF3：観光客の回遊や消費を促すマーケティング戦略が機能している
<p>〈修正事項〉</p>	<p>〈KSF1〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「市民農園など、多様な人材が農業に参画し、農業への理解が深まっている」に修正する

グループ4 行政分野： 14. 芸術文化・スポーツ

<戦略骨子案> 分野別の理想像・ KGI・KSF	<分野別の理想像> ・文化・スポーツを日常的に楽しみ、心豊かな暮らしとまちへの愛着を育むまち <KGI> ・ KGI1：芸術文化・スポーツ活動の日常的な参加・実施 ・ KGI2：文化芸術・スポーツを通じた地域の賑わい創出 <KSF> ・ KSF1：市民が身近な場所で触れ、体験できる機会・施設が確保されている ・ KSF2：若手芸術家やアスリートが市民と交流・発表する仕組みがある ・ KSF3：民間活力や寄付を活用した持続可能な運営体制が構築されている
<修正事項>	<修正事項無し>

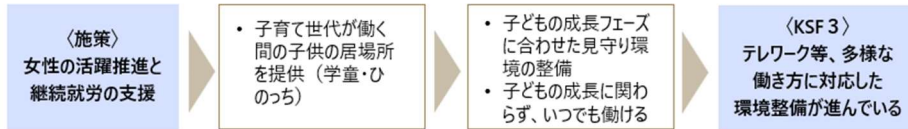
(ワーク②)「施策～KSF」のロジックモデルを補強する。

グループ4 行政分野： 7. 産業・雇用 10. 環境・GX 13. 農業・観光 14. 芸術文化・スポーツ

<行政分野7：産業・雇用>



<行政分野7：産業・雇用>



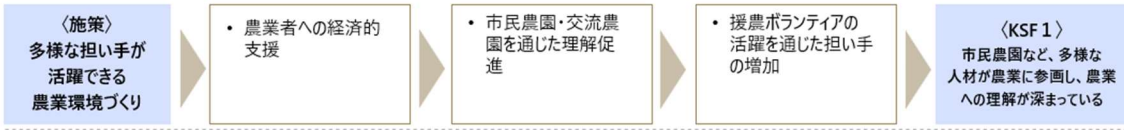
<行政分野10：環境・GX>



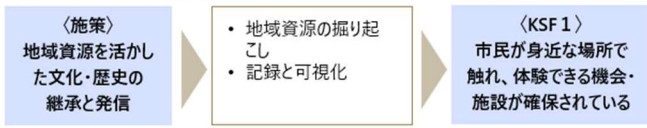
<行政分野10：環境・GX>



<行政分野13：農業・観光>



<行政分野14：芸術文化・スポーツ>



<行政分野14：芸術文化・スポーツ>

